

峰相野菜苗生産基地を一時閉鎖します

峰相野菜苗生産基地(姫路市打越)では、直売所出荷者向けの野菜苗を生産してきましたが、令和元年7月に育苗用ハウスを撤去することとなりました。現在は移転等の検討を進めていますが、今後の野菜苗については、セルトレー苗が出芽苗での提供になるなど、下記のとおり変更いたします。利用者の方にはご不便、ご面倒をおかけしますが、なにとぞご理解賜りますよう、よろしくをお願いいたします。なお、基地内に設置の土壌分析室については今まで通りとなりますので、ぜひご活用ください。

野菜苗生産基地の移転、再開につきましては詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。

●セルトレー苗

→出芽苗で出荷します。

価格は1トレーあたり、現在の1,080円から500円に変更します。

- ・キャベツ・ブロッコリー・カリフラワー類…出芽後3～5日苗
- ・レタス、リーフレタス類…出芽後7日苗

●ポット苗

→従来通り、定植適期苗を出荷いたします。

- ・抑制キュウリ(露地での栽培よりも成長・収穫・出荷時期を遅くしたもの)、トマト、カボチャ



現在の峰相野菜苗生産基地



出芽苗(イメージ)

農作業ひとくちメモ

梅雨明け後の畑の管理

梅雨が明けると、雨が続き多湿だった気候から、日射しが強く高温で乾燥した気候へと環境が激変し、作物にも大きな影響を与えます。果菜類は梅雨明け以降、着果による負担で樹勢の低下がみられます。果実数の制限や早どりなどで、負担を軽くしてあげましょう。

また、猛暑で地温が上昇し、乾燥も進みます。果菜類などは敷きわらや敷き草を施し、乾燥から守りましょう。軟弱な葉菜類はべたがけ資材で遮光し、温度が上がるのを防ぎましょう。乾燥が続く場合は、定期的なかん水が必要です。夏野菜の根はしっかり張っているので、株元よりも畝溝に水を流した方が、根の先から水が吸われて効果的です。ただし、夏の水やり時にホースなどを使う場合、ホース内に温水が残っていることが多く、いきなり使うと植物を傷めてしまいます。温水を出し切ってから水をやるように心がけましょう。

